



株式会社 環境保全研究所

～新しい未来へ～ ..黄金の国.. 環境社会新聞



日本UNEP協会

—国際、気候、農業、地域、伝統文化、倫理教育、弱者、産業—

発行人：堤九十生 環境社会新聞社〒621-0262 京都府亀岡市畑野町広野平井 3-17

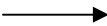
☎0771-28-5041 FAX0771-28-5042 M:info@kankyousyakai.com

定価：カラー1部、年7,777円/個人、21,600円/法人(税込)

モノクロ1部、年3,888円/個人、10,800円/法人(税込)

振込口座：三井住友銀行・天満橋支店(普) 1464019 ゆうちょ銀行00960-4-298566

購読申
込みは



PDF閲覧用
今月のパスワード
本紙に記載

★環境社会新聞の購読申込みはホームページ又はFAXでお名前、ご住所

カラー・モノクロ、部数を明記して、お振込みください。

弊紙は本年十一月で発刊五〇〇号に達する▼創刊当時はファックスもなくパソコンもなかったが昭和六〇年代にポケットベルからファックス。そしてコンビニが各地に出店▼長年お世話になったタイプ屋さんは廃業した。あれから約三十年が経つ。誰もがタブレットからの情報、決済、メールと、別世界。新聞も電子版が有力だろう。▼九月十日に賑やかに某料理店で評議会を開催したが高齢者はガラ系だが主流はスマホだ。スマホの「神」を味方にすべきだろうと思案の真つ最中だ。

北朝鮮・ミサイル暴走！CO2と原発は？ 安保理の全会一致で追加制裁採決

NHK他、各報道によると、「八月二十九日午前五時五十八分頃、北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)が、我が国上空を通過する弾道ミサイルを発射した。
北朝鮮による一連のミサイルの発射は、国連安全保障理事会決議に明白に違反しており、国民の安全・安心に対し極めて憂慮すべき事態であり、断じて容認することはできない。」等、同様の抗議が相次いで発表されている。
九月十二日国連安保理は全会一致で追加制裁を採決したが、追加制裁の実行が厳格に実施されるのか可能性についての言及はなく、緩和に向けた具体的措置を各国が連携して確実に実行できるのか問われるが、同国の二酸化炭素の排出量と原子力発電所の現状について調べて見た。
(関連四頁)

9月1日は、大正12年(1923年)9月1日に10万人以上の死者・行方不明者を出した『関東大震災』の発生に由来している。台風の接近・上陸は8月から9月にかけて多い。(気象庁)

9月1日は防災の日

水俣条約、平成29(2017)年8月16日発効！

平成二十五(二〇一三)年十月に熊本市・水俣市で開催された外交会議で「水銀に関する水俣条約」が採択された。この条約は、水銀及び水銀化合物の人為的排出から人の健康及び環境を保護することを目的としており、採掘から流通、使用、廃棄に至る水銀のライフサイクルにわたる適正な管理と排出の削減を定めるもの。

我が国では、条約締結に必要な法令整備を進め、平成二十八(二〇一六)年二月二日に条約を締結している。また外交会議で途上国支援や水俣発の情報発信・交流に関する「MOYAIイニシアティブ」(註)を表明しており、この一環として、水銀マイナスイニシアティブ(MINAS)による途上国の水銀対策を、アメリカ環境保護庁や国連環境計画(UNEP)、独立行政法人国際協力機構(JICA)等と密接に連携しつつ進めている。環境省八月十六日発表。
(関連五頁)

MOYAIイニシアティブとは、日本のもやいから世界のMOYAIへととして、途上国へ資金援助や技術支援で取り組みの、後押ししたり水俣からの技術情報の発信や、環境をてこに足腰強い経済・心豊かな地域社会の構築を支援すること。
※「MOYAIもやい」とは、船と船をつなぎとめるもやい網や農村での共同作業のこと。

新清流

黄金の国ジパングとは豊かに、国中に稲穂が黄金に輝く日本▼まさに黄金の国だ『東方見聞録』に日本を「黄金の国ジパング」と表していたがこの絶景こそが黄金だ。



黄金の稲穂
早朝の篠山で